

## 教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	福崎 千鶴
連絡先メールアドレス	fukuzaki@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	専任講師
所属	看護福祉学部 社会福祉学科
略歴	<p><b>【学歴】</b></p> <p>鹿児島県医療法人協会立看護専門学校専門課程 卒業  鹿児島県立短期大学商経科 卒業  鹿児島国際大学福祉社会学部社会福祉学科 卒業  鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科修士課程 修了  鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科博士後期課程 修了</p> <p><b>【職歴】</b></p> <p>医療法人康成会 植村病院 (看護師)  鹿児島県済生会 指定居宅介護支援センター高喜苑 (介護支援専門員)  医療法人博愛会 相良病院 (外科および緩和ケア病棟 看護師)  鹿児島県身体障害者更生相談所 (更生医療担当)  鹿児島医療福祉専門学校看護学科 専任教員  鹿児島市谷山福祉事務所 (生活保護課 社会福祉士)  九州看護福祉大学看護福祉学部社会福祉学科 専任講師  九州看護福祉大学看護福祉学部社会福祉学科 准教授 (現在に至る)</p>
取得学位	博士 (社会福祉学) 修士 (社会福祉学)
担当科目	基礎演習Ⅰ・Ⅱ 相談援助演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 相談援助実習指導Ⅰ・Ⅱ 相談援助実習 ボランティア論 社会福祉特別演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文指導
専門分野	社会福祉学・看護学・ソーシャルワーク・高齢者福祉・公的扶助 終末期支援・医療福祉
所属学会 等	日本社会福祉学会、日本老年社会科学会、日本認知症ケア学会 NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク
現在の研究テーマ	1.認知症の人と家族の生活支援に関する研究 (終末期ケア・グループケア・災害時の支援を含む) 2.セルフヘルプ・グループの機能を活かした支援に関する研究 3.高齢者の貧困問題に関する研究 4.ソーシャルワーク実践に関する研究
	<b>【著書】</b> 1) 共著『保健医療サービスとソーシャルワーク』法律文化社, 2010年.

## 教育研究業績

(著書・学術論文等)

2) 共著『21世紀の現代社会福祉用語辞典』学文社, 2013年.

3) 共著『少子高齢化社会の家族・生活・福祉』時潮社, 2016年.

## 【学術論文】

1) 単著「医療機関での身体拘束の認識と実施頻度に関する研究」『九州社会福祉学』2007年.

2) 単著「やすら木会の活動について—世話人と会員の方への調査から—」『第23回全国研究集会抄録と誌上報告』2007年.

3) 単著「認知症高齢者支援システムとセルフヘルプ・グループの機能に関する研究」2008年. (修士論文)

4) 単著「認知症高齢者の介護とセルフヘルプ・グループの活動に関する研究」『鹿児島国際大学社会福祉学会誌』第7号, 2008年.

5) 単著「自然災害時における生活保護課のソーシャルワーク実践と課題—東北大震災の被地調査結果から—」『九州社会福祉学』第11号, P71-81, 2015年. (日本社会福祉学会九州地域部会)

6) 単著「認知症高齢者支援システムとセルフヘルプ・グループ機能に関する研究—認知症の人と家族の会 A 県支部会員の取り組みより—」『鹿児島国際大学大学院論集』第7集, P11-21, 2015年.

7) 単著「認知症支援システムにおけるセルフヘルプ・グループの可能性—認知症高齢者と家族介護者のソーシャルワーク実践に関する研究—」2018年. (博士論文)

## 【研究報告書】

1) 共著「ふれあいプラザなのはな館」高齢者中央大学に関する調査」『2006年度大学院プロジェクト研究報告書』2007年.

## 【研究ノート】

1) 共著「認知症家族介護者への電話相談の効用と可能性」『鹿児島国際大学福祉社会学部論集』第33巻1号, 2014年.

2) 共著「認知症の人と家族の会の介護者支援における対面的相互効果」『鹿児島国際大学大学院学術論集』第6集, P55-60, 2014年.

## 【学会発表】

1) 単独「医療機関での身体拘束に関する研究—身体拘束の認識と実施頻度に焦点をあてて—」日本社会福祉学会(九州部会), 平成18年12月.

2) 共同研究「身体拘束の実施と解決策についての検討—自由回答を中心とした検討による考察—」日本社会福祉学会, 平成19年9月.

3) 共同研究「ふれあいプラザなのはな館」高齢者中央大学に関する研究—受講者状況, 受講状況—(1) 日本社会福祉学会(九州部会), 平成19年12月.

4) 共同研究「ふれあいプラザなのはな館」高齢者中央大学に関する研究—高齢者中央大学の影響と今後の課題—(2) 日本社会福祉学会(九州部会), 平成19年12月.

	<p>5) 単独「認知症の人と家族の会の対面的相互作用による介護者支援—在宅認知症介護者の集い・講演会参加についての一考察—」老年社会科学会, 平成20年6月.</p> <p>6) 単独「電話を通じた介護者支援の現状と可能性—認知症の人と家族の会による電話相談について—」老年社会科学会, 平成20年6月.</p> <p>7) 単独「認知症高齢者支援システムとセルフヘルプ・グループの機能—認知症の人と家族の会A県支部会員へのインタビュー調査から—」日本保健福祉学会, 平成20年11月.</p> <p>8) 単独「日本の高齢者福祉制度について」韓日保健医療福祉研究会, 平成26年2月.</p> <p>9) 単独「自然災害時における公的機関のソーシャルワーク実践と課題—東北大震災の被災地調査結果から—」鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科第3回研究会, 平成26年12月.</p> <p>10) 単独「自然災害時における生活保護課のソーシャルワーク実践と課題—東日本大震災の被災地調査結果から—」日本社会福祉学会(九州部会), 平成27年6月.</p> <p>11) 単独「セルフヘルプ・グループの機能を活かした認知症高齢者の支援に関する研究—認知症の人と家族の会A県支部の取り組み—」日本社会福祉学会, 平成27年9月.</p> <p>12) 単独「A study of self-help groups of elderly people with dementia : Based on activities by a prefectural chapter of the Alzheimer's Association Japan」 33rd International conference of Alzheimer's Disease International. 平成29年4月.</p>
<p>社会活動・社会貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益社団法人 認知症の人と家族の会・鹿児島県支部 会員</li> <li>・認知症高齢者グループホーム外部評価調査員</li> <li>・地域密着型サービス評価調査員</li> <li>・介護サービス情報の公表調査員</li> <li>・認定社会福祉士のスーパーバイザー</li> <li>・平成27年度 ハートフルコンサート実行委員</li> <li>・熊本地震 災害ボランティア活動(平成28年4月～)</li> <li>・菊池市地域密着型サービス運営委員会委員(平成30年～)</li> </ul> <p>【教育関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島国際大学 非常勤講師(現代社会と福祉)(平成24年度)</li> <li>・九州保健福祉大学 非常勤講師(総合福祉研究 他)(平成22年4月～)</li> <li>・筑紫女学園大学 非常勤講師(ソーシャルワークの方法 他)(平成26年4月～)</li> <li>・玉名市 医学的基礎知識研修 講師(平成31年2月)</li> </ul>